

# 災害の概況と推移

# 火 災

平成 26 年中に広島市消防局管内で発生した火災は 378 件であり、これにより 30 人の死者と 65 人の負傷者が発生した。また、損害額は合計で 6 億 3,592 万 4 千円、建物の焼損面積は 5,700 m<sup>2</sup>であった。

火災種別で見ると、「建物火災」が 229 件で約6割を占めており、その損害額は損害額全体の約 97%となっている。

区 分	年 別	平成 26 年	平成 25 年	増 減
	火 災 件 数 (件)		378 (100.1%)	420 (100.0%)
	建 物 火 災	229 (60.6%)	249 (59.3%)	△20
	林 野 火 災	8 (2.1%)	12 (2.9%)	△4
	車 両 火 災	38 (10.1%)	37 (8.8%)	1
	船 舶 火 災	1 (0.3%)	0 (0.0%)	1
	そ の 他 火 災	102 (27.0%)	122 (29.0%)	△20
損 害 額 (千円)		635,924	789,831	△153,907
建 物 焼 損 面 積 (m <sup>2</sup> )		5,700	7,311	△1,611
林 野 焼 損 面 積 (a)		86	37	49
死 者 (人)		30	9	21
負 傷 者 (人)		65	50	15

## 過去 10 年間の火災件数等の推移

年 別	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
火 災 件 数	474	452	543	548	506	514	479	395	420	378
損 害 額 (10 万円)	5,472	10,106	8,176	10,158	8,140	6,003	5,163	4,940	7,898	6,359
建 物 焼 損 面 積 (m <sup>2</sup> )	5,472	7,125	8,451	5,654	8,326	5,545	5,804	3,953	7,311	5,700
死 者 (人)	19	19	14	16	13	12	11	12	9	30
負 傷 者 (人)	83	90	84	96	65	62	55	60	50	65

※ 平成 19 年(1 月～3 月含む。)以降は、消防事務受託市町の件数を含む。

平成26年中の火災を出火原因別にみると、「たばこ」が64件（16.9%）で最も多く、次いで「放火・放火の疑い」が56件（14.8%）、「こんろ」が47件（12.4%）となっている。

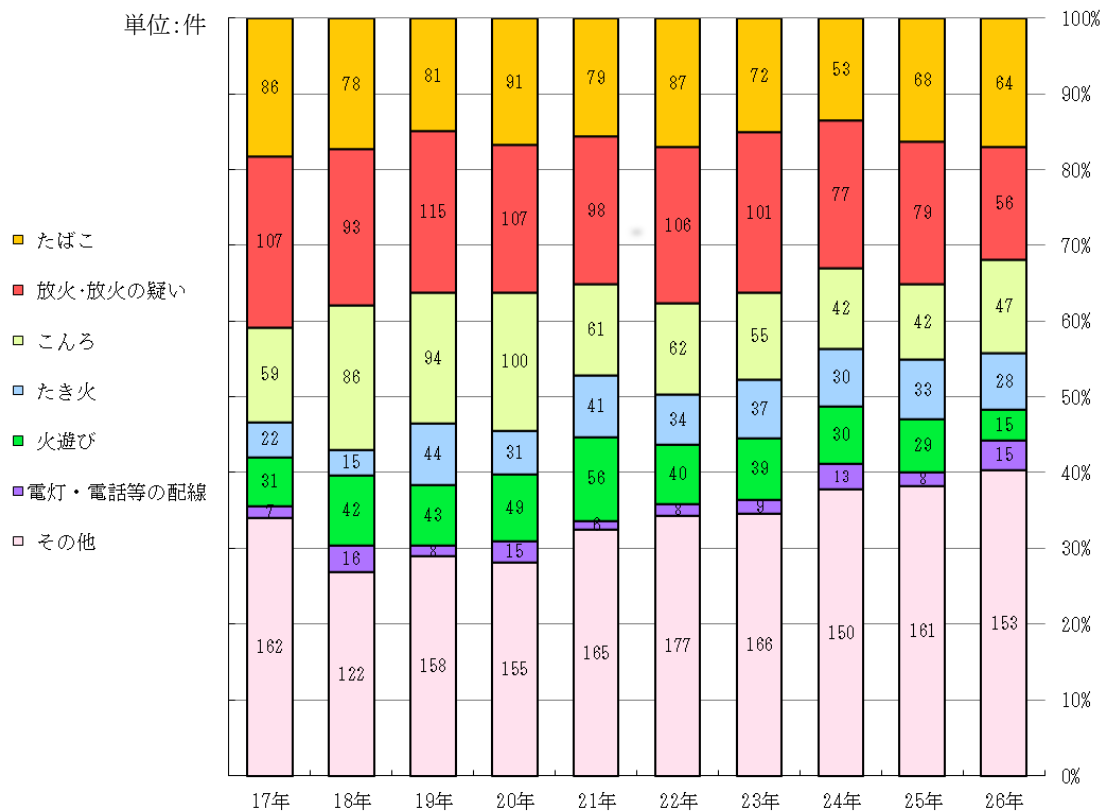
出火原因の推移をみると、「放火・放火の疑い」による火災が昭和61年から平成25年まで29年連続で出火原因の第1位となっていたが、平成26年は「たばこ」が昭和58年以来32年ぶりに出火原因の第1位となった。

### 出火原因別火災件数

（平成26年）

区分	総数	出火原因別						
		たばこ	放火・放火の疑い	こんろ	たき火	火遊び	電灯・電話等の配線	その他
件数	378	64	56	47	28	15	15	153
構成比	100%	16.9%	14.8%	12.4%	7.4%	4.0%	4.0%	40.5%

### 過去10年間の火災原因の構成比



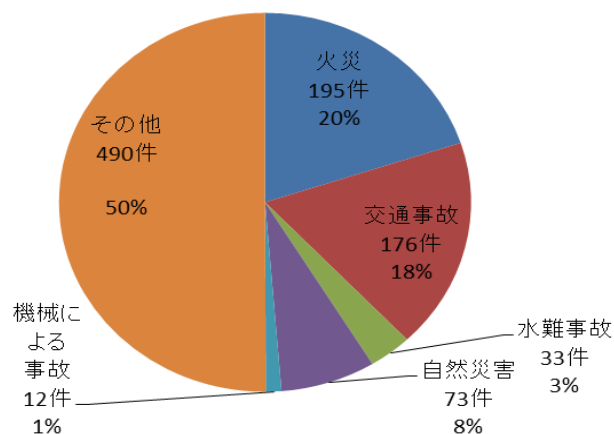
# 救 助

## 平成26年中の救助出動件数

平成26年中の救助出動件数は、受託地区を含め979件で、前年の878件と比較して101件の増加となった。

出動種別をみると、「火災」が195件で最も多く、全体の約2割(20%)を占め、続いて「交通事故」が176件(18%)となっており、この両方で全体の約4割を占めている。

過去10年間の推移をみてみると、出動件数は平成17年の707件に対し約38%の増加となっている。



過去10年間の救助隊出動件数等の推移

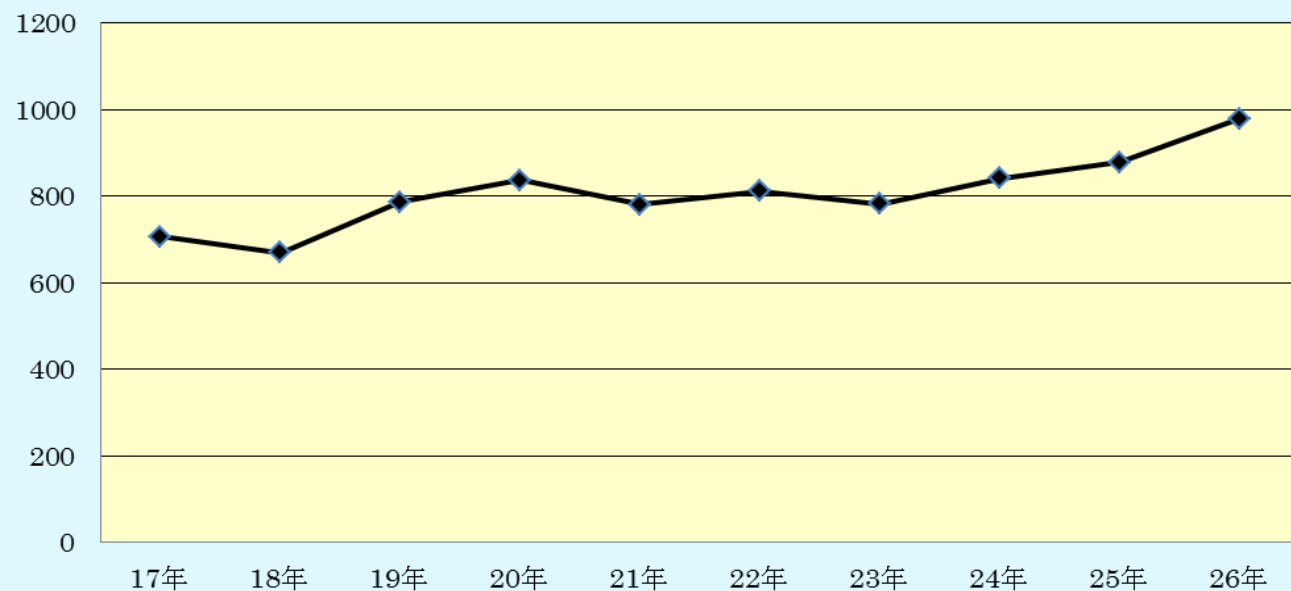
単位:件

区分	年別	平成17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
出動種別	出動件数	707 (100)	670 (95)	786 (111)	836 (118)	781 (110)	812 (115)	782 (111)	841 (119)	878 (124)	979 (138)
	火災	231 (100)	242 (105)	275 (119)	290 (126)	237 (103)	224 (97)	221 (96)	192 (83)	207 (90)	195 (84)
	交通事故	204 (100)	154 (75)	198 (97)	185 (91)	182 (89)	192 (94)	180 (88)	184 (90)	159 (78)	176 (86)
	水難事故	42 (100)	51 (121)	38 (90)	39 (93)	48 (114)	58 (138)	48 (114)	27 (64)	45 (107)	33 (79)
	機械による事故	17 (100)	12 (71)	20 (118)	16 (94)	9 (53)	13 (76)	9 (53)	14 (82)	14 (82)	12 (71)
	その他	213 (100)	211 (99)	255 (120)	306 (144)	305 (143)	325 (153)	324 (152)	424 (199)	453 (213)	563 (264)

備考

- ( )内は、平成17年を指数100として表した数値である。
- 平成19年(1月～3月含む。)以降は、消防事務受託市町の件数を含む。

過去10年間の救助出動件数の推移



## 救 急

平成 26 年中の救急出動件数は 56,045 件で、前年と比較すると 597 件(1.1%)増加し、搬送人員は 47,402 人で、35 人(-0.1%)の減少であった。これを 1 日に平均すると約 153 件出動し、約 130 人搬送したこととなり、約 9 分に 1 件の割合で救急出動要請がされたこととなる。

事故種別でみると、「急病」が 33,365 件で最も多く、全体の 6 割近くを占めており、前年と比較して 509 件の増加となった。次いで多いのは「一般負傷」で 8,257 件、次いで「交通事故」の 5,842 件となっている。前年と比較して「一般負傷」は 285 件の増加、「交通事故」は 360 件の減少となっている。

平成 12 年 4 月 1 日からはヘリコプターによる救急搬送業務を開始しており、平成 26 年中は 61 件救急出動し、30 人の搬送を行っている。

区分 \ 年別	平成 26 年	平成 25 年	増減	増減率
出 動 件 数 ( 件 )	56,045 (100.0%)	55,448(100.0%)	597	1.1%
急 病	33,365 (59.3%)	32,856 (59.3%)	509	1.5%
一般負傷	8,257 (14.7%)	7,972 (14.4%)	317	3.5%
交通事故	5,842 (10.4%)	6,202 (11.2%)	△360	-5.8%
転院搬送	5,077 ( 9.1%)	4,963 ( 9.0%)	103	2.3%
自損行為	640 ( 1.1%)	660 ( 1.2%)	△20	△3.0%
運動競技	370 ( 0.7%)	405 ( 0.7%)	△35	△8.6%
労 災	412 ( 0.7%)	415 ( 0.7%)	△3	△0.7%
そ の 他	2,082 ( 3.7%)	1,975 ( 3.6%)	107	5.4%
搬 送 人 員 ( 人 )	47,402	47,437	-35	-0.1%

### 過去 10 年間の救急件数の推移

区分 \ 年別	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年
出動件数(件)	43,080 (100)	43,333 (100)	50,288 (117)	48,048 (112)	48,189 (112)	51,565 (120)	52,616 (122)	53,500 (124)	55,448 (129)	56,045 (130)
急 病	24,243 (100)	24,431 (100)	28,699 (118)	27,250 (112)	27,572 (114)	29,894 (123)	30,928 (128)	31,545 (130)	32,856 (136)	33,365 (138)
一般負傷	5,464 (100)	5,554 (102)	6,738 (123)	6,720 (123)	6,409 (117)	7,119 (130)	7,346 (134)	7,655 (140)	7,972 (146)	8,257 (151)
交通事故	6,055 (100)	5,752 (95)	6,738 (111)	6,154 (102)	6,209 (103)	6,263 (103)	6,200 (102)	6,041 (100)	6,202 (102)	5,842 (96)

備考

1 ( )内は平成 17 年を指数 100 として表した数値である。

2 平成 19 年(1 月～3 月含む。)は、消防事務受託市町の件数を含む。

# 防 災

春の期間は、低気圧と高気圧とが交互に通り、天気は数日の周期で変わったが、高気圧に覆われることが多かったことから、降水量は少なく日照時間はかなり多かった。

夏の期間は、梅雨前線の影響は弱かったが、7月30日から8月26日までの「平成26年8月豪雨」の影響により広島県でも甚大な被害が発生した。気圧の谷の影響と太平洋高気圧の西日本への張り出しが弱かった影響で、日照時間はかなり少なく、広島的气温は2003年以来11年ぶりに低くなった。

秋の期間は、高気圧に覆われることが多く晴れの日が多かったが、10月は低気圧や台風の影響により雨の日が多かった。

## 水害発生と水防活動

(各年12月末)

区 分	被 害 種 別											避 難		活 動		備 考
	人		住 ・ 非 住 家 (棟)	公 共 建 物 (棟)	公 共 土 木 施 設			農 地 等		山 ・ が け 崩 れ (か所)	そ の 他 (か所)	世 帯 数 (世帯)	人 員 (人)	応 急 工 作 場 所 (か所)	人 員 (人)	
	死 者 ・ 行 方 不 明 者 (人)	負 傷 者 (人)			道 路 ・ 橋 梁 (か所)	岸 河 川 (堤 防 ・ 護 り (か所)	そ の 他 (か所)	田 畑 (か所)	そ の 他 (か所)							
平成26年	75	69	5,211	7	672	415	255	157	158	383	457	1,362	3,098	—	36,520	災害警戒本部2回 災害対策本部1回
25			2		8			2		8	3			3	75	災害警戒本部3回
24		1	167	1	68		1	1		4	6			2	208	
23		6	22		7					2	3			2	86	
22			603		290	146		136		79	24	—	806	115	919	災害警戒本部4回 災害対策本部1回
21			27		45	19	12	3	5	82	51	35	64	51	380	災害警戒本部5回 災害対策本部2回
20		3	1												13	
19												36	57		2,843	災害警戒本部2回 災害対策本部1回
18	2	2	90	16	546	163	21	85	69	100	53	526	1,504	39	3,877	災害警戒本部4回 災害対策本部1回
17		3	535	32	444	299	27	349	7	49	30	498	1,597	104	8,475	災害警戒本部3回 災害対策本部1回
16	1	81	7,068	950	846	16	5,821			32	1,172	241	559	236	1,272	災害警戒本部6回 災害対策本部4回
15		1	19		29	16		8	1	46	3	23	58	42	565	災害警戒本部2回 災害対策本部1回
14	2	1	81		68	8		1	1	6	20			20	151	災害警戒本部1回
13			19		12	2		300	8	37	21	2	4	36	299	災害警戒本部2回 災害対策本部1回
12			26		10	3			2	11	6	23	54	12	118	災害警戒本部7回
11	24	79	3,057	184	970	581	87	2,474	283	637	1,313	1,374	5,864	392	10,355	水防準備体制2回 水防本部体制(第1次動員)2回 水防本部体制(第2次動員)2回 水防対策本部1回
10			50	—	9			13	1	21	18	1	5	34	259	水防準備体制1回
9			123	1	217	43	1	91	47	185	40	20	66	220	1,514	水防準備体制6回 水防本部体制(第1次動員)3回
8					17	2				25	5			34	251	水防準備体制1回 水防本部体制(第1次動員)1回
7			37		63	27	1	8	20	74	124	3	10	112	851	水防準備体制2回 水防本部体制(第1次動員)1回
6		3	3		1					4	1	1	4	4	120	
5			69		188	16		107	56	299	37	34	87	224	1,924	水防準備体制7回 水防本部体制(第1次動員)1回 水防本部体制(第2次動員)1回
4		5	57		68	5		105	7	15	9			107	312	水防準備体制2回